

第39回土木技術研究発表会を開催！

建設技術振興課

平成23年1月20日～21日の2日間、いわて県民情報交流センター（アイーナ）において、県土整備部主催、岩手県建設技術協会・（財）岩手県土木技術振興協会の共催で、平成22年度（第39回）土木技術研究発表会を開催しました。

開会にあたり、平井県土整備部長が挨拶を行い、「現在は仕事における制約事項や要求事項が増加し、その水準も高くなっている。このプレッシャーに負けることなく、新しい価値を見出していくことが重要。他の職員の仕事、事例なども学び、自らの仕事と相対化し評価することも必要である」と参加者に呼びかけました。

発表会には、県・市町村等の土木技術職員約180名が参加し、県土整備部からは道路、河川、建築など各分野における土木行政課題に対する取組みや、施工事例の紹介などの発表がありました。また、農林水産部、企業局、工業技術センターからもそれぞれの取組みの発表があり、合わせて16件の研究発表がありました。

特別講演では、前宮古市長で現在は盛岡大学栄養科学部教授の熊坂義裕氏から「市長12年の経験から感じたこと」と題して、市長として感じた技術者や土木行政の役割についてその思いを話していただき、「医者や技術者である理系の人は、正しい事をしていれば、世間が分かってくれると思込んでいる。道路づくりにしろ、必要な道路を作ってきたとアピールする努力も必要」との大変参考となるメッセージもいただきました。

また、県南広域振興局一関土木センター菊池所長からは、特別発表「岩手・宮城内陸地震災害復旧の概要について」と題して、地震の特徴や、関係機関等との様々な調整など本復旧までの工期短縮の取組みなどの発表がありました。

今後とも、このような発表会などを通じて、本県の社会資本整備を担う土木技術職員の技術力向上に向けて取り組んでいきます。

平井県土整備部長あいさつ



熊坂義裕教授の特別講演



県土整備部職員の発表



発表会の様子

